

## 水と緑のフェスティバル

### 第26回ファミリーハゼ釣り大会

四国三郎こと吉野川で開催される

平成20年10月12日(日)、「第26回ファミリーハゼ釣り大会」が、徳島市水と緑の推進協議会、徳島県釣連盟、四国の川を考える会、(財)日本釣振興会徳島県支部、徳島市指定上下水道工事店協同組合の共催、及び(社)四国建設弘済会、徳島県公衆浴場業生活衛生同業組合の協賛で開催されました。

名田橋から吉野川河口までの一帯で、ハゼ釣りを楽しみながら、別名「四国三郎」と呼ばれる、この美しく雄大な川に親しみながら、自然環境を守っていく心をもってもらう狙いで始め、今年が第26回大会となりました。

毎年、心配される台風が今年はなく、天気晴朗で少し西風が強い程度で、例年になく風が暖かいのでしのぎやすい。

数年前から、家族でしかも女性が参加しやすく、釣りをしながら楽しく昼弁当を食べ一日を過ごしてもらおうと、早朝6時からの受付開始時間を、世話人は午前7時30分に集合し準備、午前8時から受け付けを開始～10時に受け付け終了と遅くしたら、毎年参加者が500人以上に増えうれしい悲鳴を上げたが、今年は、近くで吉野川マラソン大会と、体育の日にからむ諸行事が開催されたり、3連休の関係かなぜか出足が悪い。それでも、釣り人の習性か、早くから世話人・参加者達が集まりだし、受付周辺が多くの参加者で混雑しはじめたのと、今年も準備が早くスムーズにできたので受付を早めました、そして、受付終了後の10時過ぎに来た釣人の数グループは受付してあげました。

受付場所は、周辺足下にクラッシャーを敷き詰めて、東側の花畑にはきれいな色々な花が咲き乱れて、雄大な景色とともに美しく整備されているので気持ちがよい。

顔馴染みになったおばあちゃんや少年たちをはじめ、県内外の各地から家族連れを始め、小・中・高校生のグループ、一般の釣り人が押し寄せて、午前10時過ぎまでに、高校生以上の男性210名、女性・少年275名合計485名もの方が受付を済ませ、思い思いの釣り場へ散開していきました。

今日は、例年のように早朝の寒風に身震して、防寒服を着ることなく、朝から風はあるが暖かく、日中は汗がでるほど暑く、行楽日和のよい天気になりました。

釣果の方は、中潮のため満潮から干潮に向かいよく動くので、朝から12cmを主体に、大型は20cmから小型は9cmまでのハゼが面白いほど食っている場所もある、10時頃の干潮になっても深みとか潮筋ではハゼが釣れ続き、なかには、市販の3本針に2匹、3匹とぶら下がった釣果を見せ合い、勸声を上げる女性や少年たち、魚の針はずしあるいは根がかりした仕掛けを切ったり、新しい仕掛け作りに苦戦する父親、釣りをそっこのけで雑談しながらゴミ拾いに精を出したり、遊山気分で弁当やおやつを食べている、子供連れや女性に高齢者の方々、足場のよい河川敷と雄大な自然の景色、ファミリーハゼ釣り大会ならではの光景が微笑ましい、今年台風の来襲が無かったのに、何故か打ち上げられたゴミが、多種多様で非常に多かったです。

午後12時から13時までの計量に持ち込まれたハゼの魚体は、数より10匹の重量なので選りすぐった13cm～18cmが主体だが、20cmを越す大型も混じっています。

計量しながら、「ようけ釣れたなあ、良かったなあ、美味しいけんな」と、声をかけながら、家庭団樂の楽しい食卓を願う役員さんもいて和やかな計量風景でした。

多くの釣果の中から良型ばかり頼りすぐって、規定の10匹を計量した結果、上位入賞は次の皆様です。

数字はハゼの重量で単位はグラムです。

◎ ファミリーの部

- ① 田 宮 花 奈 (徳島市) 405
- ② 石 井 久美代 (徳島市) 370
- ③ 勝 浦 里 美 (徳島市) 360

◎ 一般の部

- ① 近 藤 輝 雄 (徳島市) 465
- ② 北 川 亮 太 (徳島市) 395
- ③ 緒 方 義 浩 (松茂町) 395

◎ 女性・少年の部

- ① 宮 脇 勇 希 (徳島市) 480
- ② 岸 野 あ み (徳島市) 400
- ③ 篠 原 幼 子 (徳島市) 380

表彰式では、各団体の代表者から挨拶があり、各部門の優勝～3位までに賞状・トロフィー・賞品が渡され、他にも吉野川治水123年賞、ハゼ釣り大会26回賞、そして全員に参加賞が渡され、また、ゴミを拾ってくれた人には、ゴミと引き換えに徳島市水と緑の推進協議会提供のティッシュが渡されました。

今年は、徳島市指定上下水道工事店協同組合青年部が、吉野川の水を美味しく飲める喜びと、水を大切に作る気持ちで節水協力のキャンペーンと、相談コーナーを設けたり徳島県公衆浴場業生活衛生同業組合では、釣りで疲れた体を癒しさっぱりしましょう、また、友達、親子で裸のつきあいをして下さいと、一日入浴券と、期限無しで親子で県内の加盟店へ来た子供は無料となる入浴券を、配布してくれました。

受付時間を遅らせて5年目になり、毎年増加傾向で参加者が集い、拾い集めたゴミを前に、徳島市長ら各団体の代表者らと記念撮影したり、帰ってからは、家庭でハゼ料理のレシピを基にあるいは創作料理を作ったり、自然の中で釣りを楽しんだ話に弾み、料理と食味にもおいに楽しんでいただいた、有意義な1日であったと思います。

今後、心の洗濯としてますます自然に親しみ、水に触れ、川に親しみながら、治水にも関心を持っていただくためにも、そして、より多くの人に参加出来るように、来年も、受付時間が午前8時から10時で、計量を午後12時から13時までとし、表彰式、清掃そして解散予定を2時頃として、帰ってからもゆっくり料理でき、本当の和やかな1

日を楽しんでもらえるように、楽しいハゼ釣り大会として開催する予定です。

ただ、26年間ボランティアとして工夫しながらも、多くの参加者が集う楽しいハゼ釣り大会として喜んでいただき、明るい友人グループや家族の参加等で、青少年健全育成としても定着していたのに、共催する公的団体の撤退がつづき収入減となり、参加賞等に影響が出ているのが、非常に残念です。

来年も、楽しい口コミで誘い合わせて、より多くの参加者が来てくれることと信じてお待ちしております。

徳島県釣連盟



